

1 スリランカの自然と人々

(1) 位置, 名称, 面積, 地形

スリランカは、南アジアのインド亜大陸からこぼれたようにインド洋に浮かぶ、マンゴーのような形をした島国です。

かつてはセイロンと呼ばれていましたが、1948年に「英国内自治領セイロン」、そして、1972年に「スリランカ共和国」としてイギリスから完全独立を果たしました。さらに、1978年には、「スリランカ民主社会主義共和国」と改められました。

面積は、約65,600km²で、日本の九州より少し大きく、北海道よりやや小さい広さです。いちばん北のジャフナ半島から南のドンドゥラ岬まで、直線で約450kmあります。

島の南よりの中央部は標高2000m級の山岳地帯となっており、その中心の町・ヌワラエリヤは、年間の平均気温が15～16のため、古くから避暑地として開けました。

また、このあたりの山々にはお茶畑が広がり、世界的に有名なお茶の生産地になっています。

スリランカで一番高いピドゥルタラーガラ山(標高2524m)もここに 있습니다。いちばん長いマハウエリ川(全長331km)もこのあたりが源になっています。

中央部から島の北の方に行くにつれて土地は少しずつ低くなり、ダンブッラやシーギリヤあたりになるとほとんど平野となります。それより北には大きな山はありません。

*スリランカとは、シンハラ語で「光り輝く島」という意味です。

スリランカの地形図

